

# アイティフォーの強みを活かし さらなる持続的成長を

社外取締役  
株式会社エスケーエレクトロニクス  
取締役事業開発室担当

阿部 和香



### 社会への貢献度に合った知名度向上を

私がアイティフォーの社外取締役に就いたのは2021年のことです。当初は、ITやシステム開発に関して素人同然の自分には荷が重すぎると思いました。しかし、「現在の経営陣はITのプロなので、むしろ専門知識外の立場から客観的な見解が欲しい」と言っていただき社外取締役をお引き受けしました。

最初に感じたのは、アイティフォーは企業価値が非常に高いということです。事業の多くの分野でサステナブル社会の実現に貢献し、財務的にも十分な成長力があります。一方で知名度がまだまだ低く、資本市場においても評価が高いとは言えません。私は社外取締役として、今後も自分の強みを活かせる分野でアイティフォーの社会における存在意義や強みを発信していきたいと考えています。ただやはり何よりもアイティフォー自身が、PR活動にもっと力を入れていただきたいと感じています。

### 独自のグローバル化の推進を

アイティフォーの課題の一つは「グローバル化」だと考えています。通信機器やコンタクトセンター向けシステムなどいくつかの製品は、もともとアメリカやイスラエル、台湾の会社から輸入していますので、製品面でのグローバル展開は非常に進んでいます。今後は、国内で蓄積した経験と技術を逆に海外に展開していくことで、独自のグローバル化を進めても良いのではないのでしょうか。私は取締役を務めるエスケーエレクトロニクス社で新規事業を担当していますが、そこで得たさまざまなコネクションを活用して、アイティフォーに対してもシナジーを生むような外国企業をご紹介することで、グローバル化に貢献していきたいと考えています。

### 多様性を持った「人財」の育成と活用を

アイティフォーでは新入社員の女性割合が30.3%と、多くの有能な女性社員が活躍していますが、まだまだ伸びしろはあります。今後はこうした女性社員のモチベーション向上やキャリアモデルの提供など活躍の場を広げるためにさまざまな施策が必要です。また、女性に限らず多様性を持った「人財」の育成も重要です。ESG経営という点では、環境面では生産設備を持たず直接的な負荷が少ないこともあり、全方位的に取り組むのではなく企業にとって一番大切なテーマに特化して取り組むべきだと考えます。それは「人財」です。在籍している人財の育成にとどまらず、将来の人財に対しても集中的に資本投下し、優秀な頭脳とスキルを持った人財を雇用し生産性を上げることがESG経営の強化に大きく貢献するのではないのでしょうか。海外企業から技術者を招聘する、大学に講座を持つ、あるいは奨学金制度を設けるのもアイデアです。豊かな人財を擁するために会社が成すべきことは数多くあります。アイティフォーは非常にオープンで変化を強く求めている会社ですので、その強みを活かした人財の深化によるさらなる発展を今後も期待しています。